

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別判定結果シート

チーム名	第 3 チーム	担当課名	環境業務課
事業番号	3-6	事務事業名	資源物持ち去り防止事業

判定結果	見直しが必要
------	--------

【結果内訳】

判定		判定理由	
選択人数	区分	選択人数	項目（複数選択可）
0	不要 (廃止)		① 事業の趣旨・目的に妥当性がない。
			② 目的を達成する手段として、他の手法が考えられる。
			③ 市民ニーズ(需要)や時代の変化などにより、事業の効果がなくなっている、又は薄れてきている。
			④ 個人が自助努力・自己負担することが適当である。
			⑤ 民間が実施すべきである(行政の役割終了・民間の方が効率的にできる等)。
			⑥ 国又は県が実施すべきである(国・県で実施する方が効果的・効率的、国・県で同じサービス水準により実施すべき等)。
			⑦ その他
4	見直しが 必要	1	① 事業規模(サービスの受給対象者・水準等)を縮小できる可能性がある。
			② 事業の目標や目標期限などの見直しが必要である。
		1	③ 他の事業との統合を検討すべきである。
		2	④ 実施方法の見直しにより経費削減の余地がある。
			⑤ 財源確保(負担の見直し、国・県の支援等)について検討すべきである。
		2	⑥ 外部委託、市民協働・参画などを検討する余地がある。
		1	⑦ その他
0	現行どおり		現在の事業内容・手法で行うことが妥当である。
2	拡充が必要	1	① 事業の対象者の範囲を拡大し、又は数を増加させる必要がある。
		1	② サービスの内容等をさらに充実させる必要がある。
		1	③ その他

【判定人からのコメント】

○「見直しが必要」とした判定人の主なコメント	○その他の判定人の主なコメント
<p>① 市民を巻き込んだ活動をやるべき。</p> <p>② パトロールだけでは限界、市民に対する説明や条例を含めたトータルな取り組みが必要ではないか。</p> <p>③ パトロールだけでは資源物持ち去り対策は不十分のため、資源物の出し方、収集場所の工夫など、他の方法も組み合わせ実施していくべき。</p> <p>④ 方法論も含めて効果のあるものを検討して欲しい。</p>	<p>⑤ 警備会社と市民との連携をうまく取り合せて効果的な対策を行って欲しい。</p> <p>⑥ 集団回収、地区での収入になるような仕組み、モデル地区など、他の取り組みと併せて進めていく方が良い。</p>